

科目名: <b>コミュニケーション論</b>		科目コード	GA34
科目主査: <b>山田 敏世</b>		単位	2
担当講師: 浅野 朋子、岩田 雅子、惠志 泰成、風戸 修子、佐藤 明香、角田 百合子、中村 菜津子、森 幸子、森田 由美子、脇村 由起子、山田 敏世		配当年次	1
授業の目的と概要	グループワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	個人ワーク: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	カメラ・マイクの必要性: <input type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 望ましい <input checked="" type="checkbox"/> 不要
<p>現代の情報化社会では、モノや情報は足りていても、心が満たされるコミュニケーションがとれない、という状況が起きています。本科目では対人コミュニケーションに的を絞り、行動科学に基づいた実践的なコミュニケーションの方法について学習します。テキストの第1・2章では、コミュニケーションの基礎的理論を学習し、第3・4章では「交流分析」と「ソーシャル・スタイル」という実践的手法を用いて豊かな対人関係のあり方を学習します。</p>			
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:	
履修の前提となる知識 その他特記事項	初學者向けのスクーリングです。すでにアサーションや心理学などの科目を履修した方は、復習を兼ねて学んでいただけます。テキストを熟読し不明な点は授業で質問できるように準備してください。		
テキスト	『コミュニケーション』宮城 まり子,産業能率大学		

この科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>①コミュニケーション論の基本概念や専門用語について理解し、説明することができる。</li> <li>②現実社会におけるコミュニケーションについての事例を論理的に考察できる。</li> </ul>
成績評価の方法	2日間のオンライン受講姿勢を重視し、最終試験はテキストの中から客観問題を20問。論述問題を2〜3問出題します。講義をきちんと聞き、重要な点はワークシートに記入し、ノートにまとめながら受けてください。

事後学習	スクーリングで得た「知識・気づき」を基に交流分析の自我状態の理解、ソーシャル・スタイルにおける4つのスタイルの行動特性を社会活動・対人関係の場で実践してください。
事後学習の参考文献	『コミュニケーション入門』船津 衛、有斐閣アルマ、2010年、産業能率大学総合研究所では、コミュニケーションの通信研修を複数実施しています。単位取得にはなりません、ことば遣いやマナーなど理解を深めたい学習に有効です。

スクーリング受講時に用意するもの	<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具(シャープペン、消しゴム、赤ペン、青ペン) <input checked="" type="checkbox"/> 定規(20cm程度)
------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------